

12 神楽まちづくり推進プログラム

地 域 目 標

～このまちに住んで良かったと思えるまちづくり

※参考 都市計画マスタープラン
(H29.2改訂)地域づくりの目標

・南地域(神楽地区を含む)
～都市機能の導入と中央地域との連携強化による中心市街地づくり
～計画的な住宅地と医療施設などが連携した安心できる地域づくり
～自然を身近に感じられ、ゆとりとうるおいのある地域づくり
～住民の主体的な活動による誇りが感じられる地域づくり

1 地域の特性

- 忠別川と美瑛川に囲まれた地域であり、神楽岡公園の森林空間や外国樹種見本林など、旭川を代表する緑の多い市街地である。
- 大雪アリーナや大雪クリスタルホール、地場産業振興センターなどの全市的な施設が立地している。
- 忠別川を横断する新たな橋梁が整備されたことにより、中心市街地との人や車の流れが活発化し、今後の更なる発展が期待される。

2 地域の基本情報

● 人 口	16,731人 [9 位]
● 世 帯 数	8,866世帯 [9 位]
● 0～14歳人口	11.8% [2 位]
● 15～64歳人口	54.5% [8 位]
● 65歳以上人口	33.7% [12位]
● 町内会加入率	61.7% [8 位]
● 町 内 会 数	46町内会
● 市民委員会数	4地区 (神楽本町, 神楽宮前, 高野, 神楽岡)
● 地域包括支援センター	1施設 (神楽・西神楽)
● 地区社会福祉協議会	4地区 (神楽本町, 神楽宮前, 高野, 神楽岡)
● 民生委員・児童委員協議会	2地区 (神楽, 神楽岡)

主 な 市 有 施 設	市全域を対象 とした施設	緑の相談所
	主に地域住民 対象とした施設	神楽支所, 神楽岡地区センター, いきいきセ ンター神楽
	文化・スポーツ 施設	大雪クリスタルホール, 博物館, 旭川大雪ア リーナ, 神楽図書館, 神楽公民館
子 育 教 育 施 設	保育所・ 児童センター	神楽保育所, 神楽児童センター
	小・中学校	神楽小学校, 神楽岡小学校 神楽中学校
安 全 安 の 心 施 設	警察署・消防署	南消防署神楽出張所, 神楽交番
	消防団	第12分団
	除雪センター	神楽・緑が丘・西神楽
地域の特徴的な施設		道の駅, 地場産業振興センター, 三浦綾子 記念文学館

※ 数値は、令和5年4月1日現在

※ 順位は、15地域中で数値が大きいほうを上位とする。

3 地域資源と特色のある取組

■ 地域資源

- 外国樹種見本林(神楽本町)
- 三浦綾子記念文学館(神楽本町)
- 神楽岡公園(神楽宮前)
- プラタナス並木(神楽宮前・神楽岡)
- 道の駅(神楽本町)
- 大雪クリスタルホール(神楽本町)
- 大雪アリーナ(神楽本町)
- 道北地域地場産業振興センター(神楽本町)
- 氷点橋(神楽宮前)
- クリスタル橋(神楽本町)
- 三浦綾子文学の道(神楽本町)

4 地域の現状と課題解決のための取組・市への要望等

■ 福祉, 子育て, 健康づくり, 地域の支え合いの強化

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
【優先】高齢者が気軽に集う機会や場所の不足(全域)	【優先】高齢者の居場所(サロン)づくり(全域)	○(H30～)
・高齢者(独居者)の健康維持と安否確認(全域)	・大人ラジオ体操の実施(全域)	—
	・旭川医大との協力・連携(全域)	○(R1～)
	・地域コミュニティーの運行(神楽岡)	—
・高齢者・障害者の買物, 通院, 除雪等の生活支援(全域)	・市民委員会, 地区社協等による除雪支援組織づくり(神楽岡)	—
	・シニア世代活用による菜園づくり, 花壇整備, 除雪支援等(全域)	—
	・子ども食堂の開設(神楽本町・神楽宮前・高野)	○(H29～)
【優先】安心して子育てができ, 子どもが地域とつながりを持って安心・安全に暮らせるまちづくり(全域)	【優先】子どもの学習支援(スタディールーム)の開設(全域)	○(H30～)
	・子ども食堂・学習支援・遊び場の開設(神楽岡)	○(H30～)
	・子ども110番設置場所の見直し, 設置世帯と子どもたちの交歓会(全域)	—
	・旭川医大との協力・連携(全域)	○(R1～)
	・子どもの健康と命を守る関係機関の連携強化(全域)	—

■ 教育, 文化, スポーツ振興

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況

■ 特色のある取組

●神楽岡太鼓(神楽岡太鼓保存会)(神楽岡)

は令和5年度の協議結果により追加・修正等を行った項目

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案
歌サロン「きらりん」実行委員会	単独型まちづくり事業補助金	
こども食堂「楽っこルーム」実行委員会		
学習室「らっこ」実行委員会	単独型まちづくり事業補助金	
岡っ子サロン実行委員会		

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案

■ 地産地消, 商店街の振興, 魅力発信, 賑わいづくり

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
・商店街の活動低迷, 購買の流出(全域)	・三浦綾子記念文学館など各施設との連携(神楽本町)	—
	・大雪アリーナなどの無料駐車場の活用(神楽本町)	—
	・旭川駅から歩いてきてもらうまちづくり(神楽本町)	—
	・互近助カード(買物割引, 災害時の身元特定等)の発行(全域)	—
	・フリーマーケットや朝市の開催(全域)	—
・地域の魅力・賑わいづくり(全域)	・文化施設周辺の桜並木など緑豊かな周遊ルートの整備(全域)	—
	・まちを花で飾るなど花をテーマにした取組(全域)	—

■ 基本的な生活環境の確保, 環境保全, 事故・犯罪の防止, 防災

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
・地域防災力の向上と災害対策(全域)	・南校川の底辺浄化及び雨水管の定期浄化清掃(高野)	○(H28~)
	・防災情報と地域案内を兼ねた立て看板の設置(全域)	—
	・洪水掲示板の設置(全域)	—
	・要支援者の避難支援対策と体制の充実(全域)	—
	・自主防災会の体制の見直しと充実(全域)	—
・厳冬期の長期停電時の対策(全域)	・避難所に発電機等の設置, 保存食等の備蓄(全域)	—
【優先】ごみ減量化・循環型社会構築に向けた取組(全域)	【優先】生ごみ堆肥化講習会, 譲り品受渡し会実施等(全域)	○(H30~)
・ごみのないクリーンなまちづくり(全域)	・投げ捨てごみの注意喚起看板の設置(全域)	—
・キツネ・カラス対策(全域)	・ごみステーションの管理強化, 空き地草刈り奨励等(全域)	—

■ 郷土愛や誇りの醸成・コミュニティ活性化(世代間交流)

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
【共通課題】●人口減少・少子高齢化 ●町内会等の担い手不足 ●個人情報の把握	・関係機関が一丸となって取り組む仕組みづくり(全域)	—
・地域における人間関係の希薄化(全域)	・世代間を超えた交流事業の開催(全域)	—
・町内会加入率の低下(全域)	・各地区で取り組んでいる世代間交流事業との連携(全域)	—
	・「声かけ運動」の展開(全域)	—
【優先】まちづくり推進協議会の理解度・周知不足(全域)	【優先】神楽まち協広報誌の発行(全域)	○(H30~)

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案
国・道・市		・南校川の底辺浄化及び雨水管の定期浄化清掃(高野)
市		・避難所に発電機等の設置, 保存食等の備蓄(全域)
神楽地区エコな地域づくり実行委員会	単独型まちづくり事業補助金	

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案
神楽まち協広報誌編集委員会	単独型まちづくり事業補助金	

5 過去の取組

実施年度	取組・テーマ	実施主体	主な内容
H24	地域防災力の向上	神楽まち協	防災知識の普及・啓発、要援護者の把握等を目的に防災手帳を作成し、神楽本町地区市民委員会を通じて各世帯に配付。2,300部作成
H25	地域防災力の向上	神楽まち協	神楽宮前地区と高野地区において防災手帳を作成し、各世帯に配付。3,000部作成
H26～H27	地域防災力の向上 安全・安心な地域づくり	神楽まち協	神楽岡地区を対象に、神楽岡地区市民委員会、市消防本部と連携し、防災手帳を作成(配付はH27年度)。4,200部作成
H28	安全・安心な地域づくり	神楽まち協	夜間災害に備え、ヘッドライトを各町内会に配置するとともに、自主防災組織未結成の町内会に対し、結成働きかけなどを実施。
	子どもの居場所づくり	神楽まち協	子ども同士や大人との交流を通じ、子どもの豊かな心を育む一助として、「子ども食堂」を次年度から実施することとし、実行委員会を立ち上げて検討。
H29	地域防災力の向上	神楽地区防災訓練実行委員会	災害に強い地域づくりの実践として、神楽本町・神楽宮前・高野地区の住民参加による防災訓練を実施。10/15 参加者268名
	エコな地域づくり	神楽岡地区エコな地域づくり実行委員会	ごみ減量化を進めるため、神楽岡地区を対象に、「2R勉強会」「生ごみ堆肥化講習会」や不用品譲渡しを行う「譲ります・譲って下さい運動」を実施。
	子どもの居場所づくり	こども食堂「楽っこルーム」実行委員会	子ども食堂を開催し、地域の高齢者も集い交流。5月から10月を除く毎月土曜日1回 神楽公民館で開催。参加者合計433名
R1～R2	神楽岡地域防災計画・防災マップ作成	神楽岡地区市民委員会	防災・減災対策を講じるため、初年度に調査を行い、計画書を作成。次年度は計画書を基に防災マップを作成し、地区内全世帯に配付。4,000部作成
H30～R4	エコな地域づくり	神楽地区エコな地域づくり実行委員会	対象を神楽地区全体に広げ、「生ごみ堆肥化講習会」や「2R勉強会」「学生服等の譲り品受渡し会」等を実施。
	子どもの居場所づくり	学習室「らっこ」実行委員会 岡っ子サロン実行委員会	神楽公民館に「学習室」を開設し、新たに子どもの学習支援を始めたほか、神楽岡地区センターにおいても、子ども食堂・学習支援・遊び場を開設。
	高齢者の居場所づくり	歌サロン「きりりん」実行委員会	神楽公民館「木楽輪」に、楽しく歌をうたって、健康づくりにもつながる、地域高齢者の交流の場を開設。
	広報誌の発行	神楽まち協広報誌編集委員会	神楽まちづくり推進協議会の役割や取組事業の周知等を目的に、広報誌を創刊。年1～2回発行、全戸配付を基本。A3判2つ折り、カラー両面印刷

6 地域まちづくり推進協議会の周知・広報

■ 市ホームページ内の掲載及び神楽まち協広報誌の発行・町内会回覧等により周知・広報を行っている。

・ 神楽まちづくり推進協議会ホームページアドレス

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/408/machikyou/d063396.html>

・ QRコード

